

本稼働向けユーザテスト仕様書 AM編

Version 2026.03.18



Table of Contents

1. 全体概要	1
1.1. スケジュール	1
2. 実施環境	2
2.1. URL	2
2.2. オンライン時間	2
2.3. 推奨環境	2
2.4. ユーザID	2
2.5. テスト銘柄	2
2.6. 環境利用不可日	3
2.7. 各ファイル仕様・サンプルファイル	3
3. テスト環境におけるユーザテスト	4
3.1. 業務シナリオテスト	4
3.2. 連動テスト	6
3.3. 完了報告	6
4. 本番環境におけるユーザテスト	7
4.1. ログインテスト	7
4.2. 連動テスト	7
4.3. 完了報告	7
5. フォールバックプラン	8
6. お問い合わせ先	9

Chapter 1. 全体概要

- 本ドキュメントは、CredNex（新ETF設定交換プラットフォーム）の本稼働時点における機能を対象としたユーザテストの概要を記載したドキュメントです。
 - 本稼働時点の機能とは、2026年6月に稼働を予定している現物型ETFを対象とした機能群を含む、すべての機能を指します。
- 本資料は、2025年9月の初回稼働時点からCredNexに参画済のAM（以下、先行AM）、および2026年6月から新規参画するAM（以下、新規AM）の双方が対象となっています。

1.1. スケジュール

ユーザポータルサイトの「本稼働対応 2026年6月 専用ページ」をご確認ください。

[本稼働対応 2026年6月 専用ページ](#)

Chapter 2. 実施環境

2.1. URL

CredNex テスト環境

<https://stg.crednex.jp.co.jp>

CredNex 本番環境

<https://crednex.jp.co.jp>

2.2. オンライン時間

テスト可能なオンライン時間は以下のとおりです。

営業日 7:00~22:00

※テスト・本番環境で共通

2.3. 推奨環境

OS: Windows 11

ブラウザ: Google Chrome または Microsoft Edge

※テスト・本番環境で共通

2.4. ユーザID

本ユーザテストでは、APによる申込登録・承認から、AMによる承認・計算書登録、TBによる計算書承認までの一連のフローを、AM自身が再現してテストを実施していただきます。

申請書でご提出いただいたユーザ情報1人につき、AM権限ユーザのみならず、ダミーAP申込ユーザ、ダミーAP承認ユーザ、ダミーTBユーザを1IDずつ配布します。

各IDおよびパスワードは申請書の内容に基づき別途配布します。

申請書は、ポータルサイト掲載の「ダミーアカウント追加削除申請書」の内容を確認いただき、ご提出ください。

[申請手続きのご案内 専用ページ](#)

No.	ユーザ種別	権限
1	AM権限ユーザ	申込の承認・拒否、取消申込の承認・拒否、強制取消、計算書登録、PCFの登録・無効化が可能なユーザ
2	ダミーAP申込ユーザ	申込、取消申込が可能なユーザ
3	ダミーAP承認ユーザ	申込の承認・拒否、取消申込の承認・拒否が可能なユーザ
4	ダミーTBユーザ	計算書の承認・差戻が可能なユーザ

2.5. テスト銘柄

申請内容に基づき登録した「①実銘柄」と、AMが独自にテストを行うための「②ダミー銘柄」をご利用いただけます。

なお、自動承認はデフォルトでOFF（自動承認されない）設定になっていますので、必要に応じてAMご自身で変更ください。

①実銘柄

本番運用開始後に実際に使用される銘柄を指します。申請内容を基に、CredNex本番環境・テスト環境双方に銘柄を登録しています。

指定参加者として登録されたAPおよび銘柄を取り扱うTBのみが、申込登録や承認などの操作を行えます。

後述の連動テストは、本番運用を忠実に再現するため、必ず本銘柄をご利用ください。

②ダミー銘柄

CredNex事務局が各AM専用に登録したダミー銘柄です。ユーザテスト参加の全AMに対し商品属性（現物型/金銭型）×債務引受あり/なしの4銘柄ずつ払い出します。

申込登録や承認などの操作は、ダミーAP申込ユーザ、ダミーAP承認ユーザ、ダミーTBユーザのみが可能です。

他組織のAMやAP・TBは、当該銘柄の申込に関する閲覧・操作ができません。ご自身の組織内で完結したテストを行いたい場合は、本銘柄をご利用ください。

後述の業務シナリオテストは本銘柄を使用してください。連動テストでは、他組織に閲覧権限がないため使用できません。

テスト環境での払出銘柄一覧は、CredNex事務局より事務連絡担当者あてに個別に配布します。ダミーアカウントのユーザIDの申請は必要になりますが、「ダミー銘柄」の払出に際する別途の申請書提出は不要になります。

2.6. 環境利用不可日

CredNexはユーザテスト開始後も利便性向上のため開発を継続します。そのため、環境が利用できない日が発生する可能性があります。

利用不可日は事前にアナウンスし、ユーザポータルサイトの「本稼働対応 2026年6月 専用ページ」で公開します。

[本稼働対応 2026年6月 専用ページ](#)

2.7. 各ファイル仕様・サンプルファイル

CredNexユーザポータルサイトの「ファイル設計書 / サンプルファイル」をご参照ください。

[本稼働対応 2026年6月 専用ページ](#)

なお、ポータルサイトのトップページに掲載されているファイル仕様書は、現物型に関する機能を含まない仕様書であるため、新規AMは、ユーザテスト向けには参照不可となります。ご注意ください。

Chapter 3. テスト環境におけるユーザテスト

テスト環境では、業務シナリオテストの実施を必須とします。（APIを利用したテストの実施は任意です。）

テスト項目によっては、既にCredNexを利用いただいている「先行AM」と、今回初めてCredNexを利用いただく「新規AM」にて、対象の銘柄（金銭型/現物型）が異なりますので、ご注意ください。

詳細につきましては、「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_AM」をご参照ください。

なお、関連するAP・TBも参加し、業務の一連の流れを検証する「連動テスト」の実施は任意です。

3.1. 業務シナリオテスト

CredNex上でAMが可能な操作は原則すべて実施し、その結果が想定どおりかを確認します。

AMの設定交換業務における一連のフローを、以下の観点で確認します。

具体的な実施ケースは本資料の「テストケース」項目および別紙「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_AM」をご参照ください。

使用する銘柄は、本ドキュメント「テスト銘柄」欄に記載の「②ダミー銘柄」をご利用ください。

なお、業務シナリオテストにおけるCredNex画面上操作の手順・方法につきましては、CredNexユーザーポータルサイトの「CredNex操作マニュアル」をご参照ください。

[本稼働対応 2026年6月 専用ページ](#)

観点

GUIによる申込～承認フロー

申込登録から承認、取消承認までの一連のフローが問題なく実行できるかを確認します。

定常運用におけるAMの操作可能範囲をステータス遷移図上で青色で示しています。

各操作を行うことで、期待どおりに申込ステータスが遷移するかを確認します。

各種情報登録

計算書、銘柄マスタ、申込受付不可日、PCFの各種ファイルを規定フォーマットに従って作成し、正常に登録できるかを確認します。

各種情報取得

申込情報、計算書、銘柄マスタ、申込受付不可日、PCFの各種ファイルがダウンロード可能であり、また必要に応じて使用しているシステム・ツール等で正常に取込が可能であることを確認します。

加えて、自身で登録した計算書、銘柄マスタ、申込受付不可日、PCFの内容が正しく反映されているかも確認します。

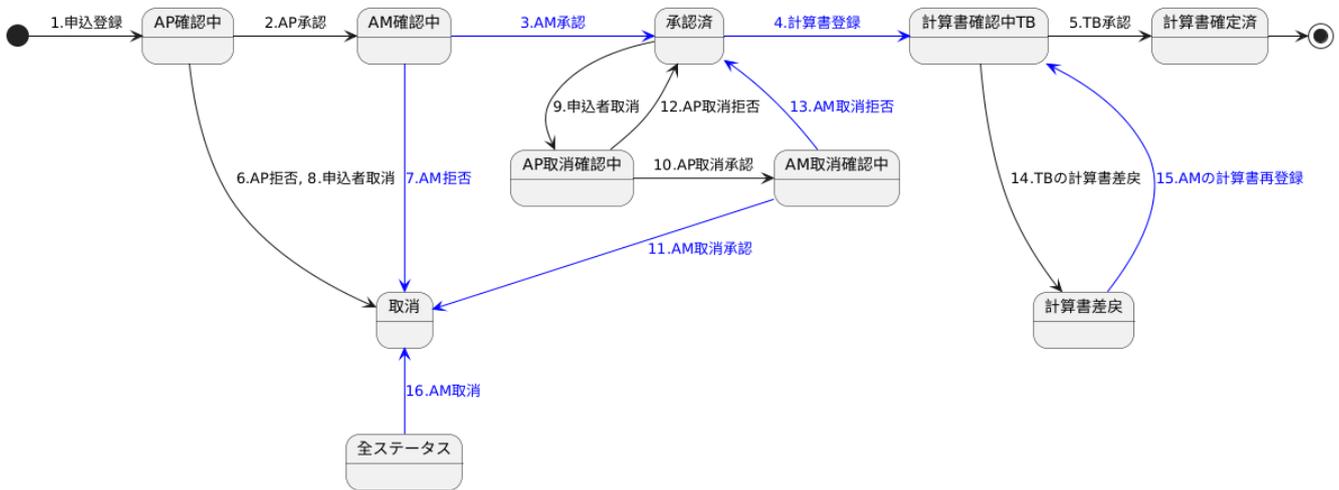


Figure 1. ステータス遷移図: AMが操作可能な部分は青色で表示。

3.1.1. 環境条件

ユーザテスト期間中は、債務引受有りの申込であっても、債務引受データは現物清算システムに連携されません。
 そのため、CredNex上で承認された債務引受情報は、現物清算システムで参照できませんのでご注意ください。
 また、金銭型ETF かつ 債務引受有りの申込に関する申込情報および計算書情報を取得した場合、CredNex事務局が独自に登録したDVP清算値段が含まれた状態で出力されます。
 ユーザテスト中に閲覧可能なDVP清算値段は実際の値とは異なります（別途案内がある場合を除きます）。
 なお、本措置は計算書・PCFの登録や、申込受付不可日の登録処理には影響しません。

3.1.2. テストケース

No.	テストケースカテゴリ	必須/任意	説明
1	ログイン	必須	CredNexのログイン画面にアクセスでき、二要素認証の認証コードがメールに届くことを確認する。また、そのコードを用いてログインできることを確認する。
2	申込情報の閲覧	必須	申込一覧画面、申込詳細画面で申込情報が正しく閲覧できることを確認する。
3	手動での承認・拒否	必須	APから回送されてきた申込を承認または拒否して、申込が適正に遷移したこと及び通知メールが配信されることを確認する。
4	自動承認	必須	自動承認がONになっている銘柄に対し、APが申込を回送した場合に、自動的に銘柄が承認されることを確認する。
5	取消リクエストに対する取消承認・取消拒否	必須	APから回送されてきた取消リクエストを承認または拒否して、申込が適正に遷移したこと及び通知メールが配信されることを確認する。
6	強制取消	必須	「承認済」の申込をAM権限によって強制的に取り消せることを確認する。
7	申込情報のダウンロード	必須	申込情報をファイル取得して、自社ツールやシステムで計算書ファイルを生成できることを確認する。
8	計算書の登録・ダウンロード	必須	計算書を登録・ダウンロードして、計算書が正常に登録されていることを確認する。

No.	テストケース カテゴリ	必須/ 任意	説明
9	計算書の再登録	必須	TBが「計算書差戻」として回送してきた申込に対して、計算書を登録できることを確認する。
10	銘柄マスタの確認・ ダウンロード・編集	必須	銘柄マスタが「AMT-11_テスト環境 銘柄マスタ登録申請書」の内容と一致していることを確認する。また、銘柄マスタ情報の登録内容を変更して、正常に変更されていることを確認する。
11	申込受付不可日のダ ウンロード・編集	必須	申込受付不可日を登録・ダウンロードして、正しく申込受付不可日が登録または削除されていることを確認する。
12	PCFの登録・ダウ ンロード	必須	PCFを登録・ダウンロードして、PCFが正常に登録されていることを確認する。

詳細なケース内容や実施手順は、別紙「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_AM」をご参照ください。

3.2. 連動テスト

関係するAPやTBなど複数社が申込に対して操作することで、本番業務運用フローを疑似的に検証する連動テストを実施可能です。

必要に応じて、銘柄の指定参加者契約を持つ各APおよび取扱TBと調整のうえ、実施内容・日時をご調整・ご判断ください。

本テストは任意実施であり、テストケースに東証からの必須条件はありません。ただし、使用銘柄は本ドキュメント「テスト銘柄」欄の「①実銘柄」をご利用ください。

3.3. 完了報告

テスト完了後は、「テストケース一覧 兼 完了報告書」に必要事項を記入し、「お問い合わせ先」に記載の東証CredNex担当宛にメールでご提出ください。

テスト環境における完了報告書の提出期限は2026/5/29（金）です。

ご不明点は記載の連絡先までお問い合わせください。

Chapter 4. 本番環境におけるユーザテスト

本番環境でのログインテストの実施を必須とします。

なお、本番環境における連動テストに関しては、新規AM・先行AMともに実施は任意です。

4.1. ログインテスト

新規AMにおいては、本番環境でのログインテストの実施を必須とします。

新規AMには5月上旬を目処に、ユーザIDを配布しますので、本番環境でログインできるかを事前にお試しください。

ログインまでの実施となり、本番業務の運用は情報登録期間（2026/6/23～予定）から開始してください。

具体的な実施ケースは「テストケース」項目または別紙「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧兼完了報告書_AM」のうち、「1. ログイン」をご確認の上、実施結果を記載ください。

先行AMにおいては、ログインテストの実施は不要です。

4.1.1. 環境条件

既に一部の金銭型ETFの本番業務運用が開始されているため、新規AMにおいてはログインのみを実施ください。

現物型ETFに対する本番業務運用は情報登録期間（2026/6/23～予定）から開始してください。

4.1.2. テストケース

No.	テストケースカテゴリ	必須/任意	説明
1	ログイン	必須	CredNexのログイン画面にアクセスでき、二要素認証の認証コードがメールに届くことを確認する。また、そのコードを用いてログインできることを確認する。

詳細なケース内容や実施手順は、「別紙_【テスト環境・本番環境】テストケース一覧 兼 完了報告書_AM」をご参照ください。

4.2. 連動テスト

内容・テスト項目についてはテスト環境と同様です。

連動テストを実施いただけるタイミングは、以下の日時となります。

2026/5/16（土） 時間未定

※詳細な時間については、別途ご案内いたします。

4.3. 完了報告

テスト完了後は、「テストケース一覧兼完了報告書」に必要事項を記入し、「お問い合わせ先」に記載の東証CredNex担当宛にメールでご提出ください。

本番環境における完了報告書の提出期限は2026/5/29（金）（予定）です。

ご不明点は記載の連絡先までお問い合わせください。

Chapter 5. フォールバックプラン

2026年6月に予定しているCredNexの本稼働において、CredNexへのシステム移行ができないと判断された場合は、CredNex・現行PFの銘柄マスタは移行前の状態に戻り、各システムにおいて本番業務を継続する方針（フォールバックプラン）を想定しています。

CredNexおよび現行PFの各システムの銘柄は移行前のマスタ状態に戻り、CredNexに移行予定であった銘柄における設定交換業務は現行ETFPFで取り扱われます。

CredNexに移行済みの銘柄は、引き続きCredNexで取り扱われます。

なお、フォールバックプランの発動タイミングによっては、マスタの復旧後、CredNexにおける移行済み銘柄における設定交換業務を、新しいインターフェース（GUI・API）で実施いただくか、本稼働前の古いインターフェースで実施いただくかが異なります。

どちらの方針とするかは、フォールバック発動時のご案内にて明記する予定です。

フォールバックプラン発動時を想定した依頼事項は以下のとおりです。

- 東京証券取引所・JPX総研・JSCCが協議した結果、フォールバックプランの発動が必要と判断された場合は、ユーザ全員に周知の上、現行ETF設定交換プラットフォームで業務を継続するための作業を行います。
- フォールバックプラン発動時は、CredNexに移行予定だったETF銘柄の設定交換業務を、現行ETF設定交換プラットフォームで継続していただきます。

Chapter 6. お問い合わせ先

東京証券取引所 株式部 CredNex担当
JPX総研 ITビジネス部 CredNex担当

メール

ask-crednex@jpx.co.jp

※メール件名に「組織名」を記載いただきますと幸いです。

電話

03-3666-0141（代表）

※現行ETF設定交換プラットフォームや清算制度に関するご質問は、お手数ですが日本証券クリアリング機構（JSCC）へお問い合わせください。